



天遊「天・天・天」

天遊 × KAPPA 展

「もしも日本橋に河童がいたら…」

天遊×KAPPA 2人展

2017.2.11 (Sat) —19 (Sun) 会期中無休 12:00 — 19:00

天遊 個展

2017.2.20 (Mon) —24 (Fri) 会期中無休 13:00 — 19:00

Talk&Live 19:00～20:30

2/20 (月) 写真家/清家正信

/21 (火) 津軽三味線/岩田桃楠

/22 (水) 華道家/粕谷尚弘 (一葉式いけ花次期家元)

/23 (木) 朗 読/塙野ひろ子

参加費 1,500 円

お申込み info@ten-you.net (各回定員 20 名)

YUKI-SIS

103-0023 東京都中央区日本橋本町 3-2-12 日本橋小楼 202

Phone : 03-5542-1669



KAPPA

今回の展覧会は2部構成になっており、2/11（土）—19（日）、古代文字アーティストとして活躍する天遊、そして河童をモチーフに陶磁作品を発表する KAPPA との2人展、後半の2/20（月）～24（金）は天遊個展とバラエティーにとんだゲストを迎えたトークイベントを開催致します。



龍

【古代文字とは】

今から約 3300 年前、中国・殷の時代（日本の 縄文~弥生時代）神と王との交信(占い)を記録するために作られた、特別で神聖な文字です。

甲羅や獣骨に刻まれた《甲骨文字》、青銅器に鋳込まれた《金文文字》があり、現在の「漢字」の源といわれている。

天と地が神梯(はしご)でつながり、至る所に神が宿っていた時代、古代人は畏敬(いけい)の念を持って自然を、生死を、受け入れていました。その精神が、文字の形態に込められています。260 年の間に生まれた約 3000 文字の中に、5 万～20 万とも言われる現代の漢字のルーツが必ずあると言われています。

天 遊 TEN-YOU <http://www.ten-you.net/>

古代文字の第一人者、書家、加藤光峰氏に師事。

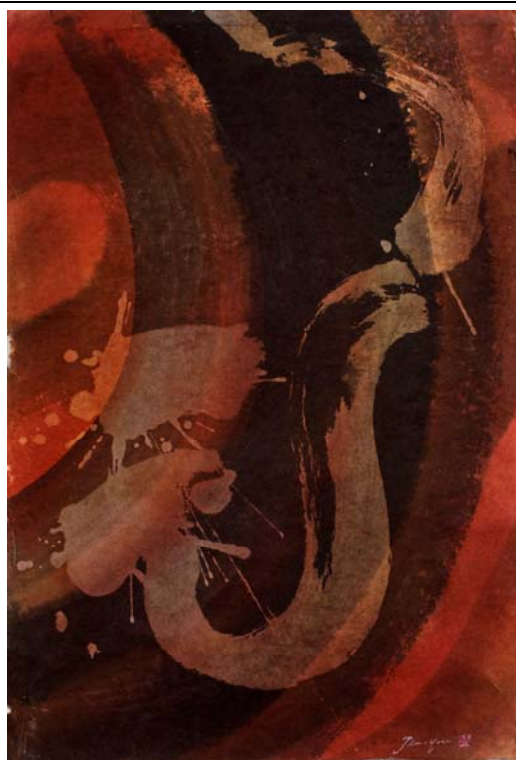
独立後の自由な活動がアーティストの支持を受け、国内外の様々なアートイベントに招待される。

文字の魅力と全身で書く楽しさを伝えるため古代文字アーティスト集団 天遊組を主宰。

多くの出会いから海外への展開が始まるが、その矢先 3.11 の地震災害を体験。

改めて 生かされていることを意識する。自然界への「畏敬の念」が込められた古代文字を日本の伝統文化、技術を取り込み発信している。

彼女の描くしなやかで自由な古代文字は、名前にもなっている「天」と繋がるような世界観と広がりを持ち、改めてその文字の持つ本当の意味を感じさせてくれる。



龍



亀



シェンカップ (岡部美代治)

江戸時代には専門書があったという程、妖怪の中でも古くから広く知られる河童。
いろいろな説がありますが、その姿は子供のようにもあり、純粋でフレンドリーなイメージさえあります。
自らをシェンカップと名乗る作者は、陶芸を始めて10数年、今回はビートルズやマイケルシェンカーなどのロックバンドと、長く彼の制作のテーマになっている河童と融合させた作品を発表いたします。伝説の妖怪がどこか大まじめに楽器を演奏する姿には、思わず笑みがこぼれます。